

事業所名		アイリー・らぼ多機能型事業所（放デイ）		支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		1 月		18 日	
法人（事業所）理念		①「ちょっと頑張ったら出来た」と思える活動を大切にします。 ②集団生活や、世代間交流を通してコミュニケーションの力を育みます。 ③保護者の応援団になります。											
支援方針		身体全体をしっかりと使った活動を中心に行い、体幹や基礎体力の向上、精神面での発達や感情のコントロール、その他生活に必要な身の回りの動作の習得・発達支援を行います。											
営業時間		曜日…月～土／時間…(平日)14:00～17:30(学校休業日)9:00～16:00				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	家庭からの連絡帳と、来所時の手洗い・検温の実施などで子どもの健康状態を把握します。 必要に応じて水分補給や排泄指導を行います。 身の回りのことを自分で出来るように荷物の整理整頓を促します。											
	運動・感覚	サーキットやトランポリン・リズム運動を通して粗大運動の発達を促します。 製作やクッキングの活動を通して微細運動の発達を促します。 ボール運動・しっぽ取りなど集団での遊びを行います。											
	認知・行動	事前約束と振り返りを繰り返し行うことで自己肯定感を育みます。 作業工程やスケジュールの視覚提示、タイマーの使用で見通しを持って行動できるよう促します。											
	言語 コミュニケーション	来所時や降所時、お礼や謝罪、物の貸し借りなど、日常生活で使用するあいさつ言葉ややり取りの仕方を学べるようにします。 絵カードやロールプレイなどを使用することで視覚的な支援を行います。 振り返りの中で自分の気持ちを考え、表現する機会を持ちます。											
	人間関係 社会性	集団遊びを通してルールを意識したり友だちと協力する力を養います。 SSTや勝敗のあるゲームを通して感情のコントロールの仕方を学べるようにします。 他事業所との交流により様々な世代の人との関わりを持ちます。（保育・介護施設の利用者さんとの交流）											
家族支援		面談、連絡帳、LINEを使用して保護者と情報を共有し、困りごとに対する助言・サポートを行います。 SNSで利用児童の様子を発信。延長サービス・スポット利用の提供。				移行支援		学校や関係機関との連携を図ります。					
地域支援・地域連携		近隣のお店での買い物や、地域行事への参加、地域の学生の実習受け入れを行います。				職員の質の向上		事業所内研修・社内独自の職員育成研修の実施や、外部研修・資格取得のサポートを行います。 毎日のミーティングによる情報共有と支援方法の検討を行う。					
主な行事等		長期休暇の外出行事(地域資源に参加)、季節にちなんだ製作、クッキング、畑作業、避難訓練、他事業所との合同行事(夏祭り、キャンプなど)、周年祭、餅つき大会											